

保護者支援スキルアップ講座

講師：橋本 真紀（関西学院大学 准教授）

2012年2月18日（土）・3月3日（土）

この講座は保育所の保育士が行う保護者支援について、保育士の専門性を生かした「保育相談支援」を学ぶ講座である。2010年度の「保育セミナー」において、淑徳大学教授柏女霊峰氏による「保育相談支援」の目的と意義などの講義をもとに、今年度さらに実践的に学ぶために企画した講座を開催した。「保育相談支援」は保育者が新たに獲得する知識や技術を学ぶものではなく、すでに保育者が実践している保護者支援の中に存在するものである。保育者がその専門性を意識的に活用しつつ、これからの保護者支援の質を高めていくことを目的として、今回はその分野では柏女氏とともに第一人者である関西学院大学橋本真紀氏に2回にわたりお話し頂いた。

第一回 保育相談支援の基本と実践 I

2012年2月18日（土）

10:00～12:00 13:00～16:00

この回の前半部分は「保育相談支援」の定義を学び、保護者の養育力向上のために具体的にはどのような支援があればよいのか、また保育所の役割として地域への子育て支援をどうすすめていくのか、についての講義をして頂いた。

後半部分は「保育相談支援」の実際として、現場の事例を解説していただきながら、保育士の専門性がどのように生かされているのか、どのような保育技術が生かされているかを保育相談支援技術を類型化して、実際に支援を展開していく方法を指し示していただいた。支援技術の展開につい

ては子どもの保育や地域の専門機関やソーシャルワーカーなどの専門家と連携をはかることにより、保育の専門性を生かして保護者の養育力の向上を高めることになるということであった。受講した保育士らは、その専門性を改めて認識し、実践する過程でその専門性を高めることになると感想を述べられていた。

第二回 保育相談支援の基本と実践 II

2012年3月3日（土）

13:00～16:00

第一回目は橋本先生の講義及び受講者の現場の事例を中心に、受講者間で討論を深めた。第二回は予定を少し変更して、橋本先生から出された事例も加え、様々な事例を現場でどのように展開していくのか、受講者の保護者支援の経験談などを活発に出し合い、議論を深める結果となり、より実践的な内容の講座となった。

本講座のまとめとして、保育所の保護者支援は日常繰り返している保護者対応のスキルを高めていくことが相談の技術向上を図ることになり、この技術を保育士らが認識してさらに活用していく必要があると解説されていた。また技術の向上は経験知に偏らず、スキルそのものを高めていくことにあるとまとめられた。本講座は今後も事例分析から具体的に学ぶことができる本格的な実践中心の講座として、非常に貴重な内容となった。

（松永静子）

プログラム

2012年 2月18日(土) 10:00～12:00 13:00～16:00	保育相談支援の基本と実際Ⅰ 講師：橋本 真紀氏(関西学院大学教育学部准教授) 保育相談支援における基本姿勢，保育を基盤とする保育相談支援の構造，その技術等を事例を通して学ぶ。
3月3日(土) 13:00～16:00	保育相談支援の実際Ⅱ 講師：橋本 真紀氏(関西学院大学教育学部准教授) 参加者自身が実践した事例を持ち寄り，保育相談支援の視点から事例を分析，検討し，相談支援技術のスキルアップを図る。